



さいたま市平成24年度

当初予算のポイント



1. 予算編成の基本方針

「しあわせ倍増プラン2009」を達成に導くことはもとより、東日本大震災を契機とした防災対策等への積極的な取組により、市民生活の安全・安心基盤をより強化し、「更なるしあわせを実感できるまちの実現」に向けた予算編成を実施



重点3分野

重点分野へメリハリのある予算配分

防災・環境・エネルギー対策 高齢者支援 子育て支援

2. 予算規模

会計	平成24年度	平成23年度	増減(増減率%)
一般会計	4,309億3,000万円	4,408億9,000万円	99億6,000万円 (2.3%)
特別会計	2,077億8,500万円	2,008億 600万円	69億7,900万円 (3.5%)
企業会計	1,069億5,648万円	1,133億6,924万円	64億1,276万円 (5.7%)
合計	7,456億7,148万円	7,550億6,524万円	93億9,376万円 (1.2%)

- 一般会計は、生活保護費などが増加したものの、制度改正に伴う子どもための手当や事業進捗等に伴い普通建設事業費が減少したことなどから、6年ぶりに前年を下回る規模となったが、重点分野へメリハリのある予算配分を行うなど、「更なるしあわせを実感できるまちの実現」に向けて所要の予算を確保した。
- 評価替えに伴う固定資産税の減等による市税の減収等の影響により予算要求段階で356億円あった財源不足については、行財政改革推進プラン2010の着実な実施や、基金や市債の活用により財源を確保したが、財政の健全化を踏まえ、プライマリーバランス(臨時財政対策債除く)の黒字維持に努めた結果、市債の発行総額は4年ぶりに前年を下回った。

一般会計主な増減理由

歳入	市税	20億円 (評価替えに伴う固定資産税 31億円等)
	国庫支出金	94億円 (子ども手当給付費交付金 121億円、生活保護費負担金 23億円増等)
	市債	5億円 (臨時財政対策債 1億円等)
歳出	総務費	38億円 (武蔵浦和駅第1街区南区役所等保留床取得 22億円等)
	民生費	3億円 (生活保護費 30億円増、自立支援給付 29億円増、児童手当等給付 67億円等)
	土木費	20億円 (武蔵浦和駅第1街区市街地再開発事業 24億円等)
	教育費	26億円 (小学校新設校建設事業 22億円、特別支援学校新設校建設事業 8億円等)

3. 主な事業

	事業名	内容	(千円)
防災、環境・エネルギー対策	新 新 自家用給油施設・非常用自家発電設備整備	震災時等の消防車両等の活動用燃料確保を目的とした自家用給油施設及び消防庁舎の機能維持を目的とした消防署所の非常用自家発電設備を整備【消防施設課】	16,493
	拡 災害用物資備蓄	東日本大震災の教訓を踏まえた備蓄計画の見直しに基づき、災害用物資を備蓄【防災課】	79,927
	新 防災教育推進	市立の全ての中・高等学校にAED(自動対外式除細動器)の訓練用器具を配備し、応急手当の実習で使用【健康教育課】	6,000
	新 (仮称)危機管理センター構築	総合防災情報システムを兼ね備えた(仮称)危機管理センターを構築【安心安全課】(構築までの間、暫定的なオペレーションルームを整備)	7,038
	新 新エネルギー政策策定	本市の地産地消のエネルギー施策に関する総合的な調査を実施し、新エネルギー政策を策定【地球温暖化対策課】	10,000
	拡 「スマートホーム推進・創って減らす」設備設置促進	太陽光発電設備設置補助に加え、蓄電池などの創エネ・省エネ機器設置の更なる促進を図るため新たな補助制度を創設【地球温暖化対策課】	150,000
高齢者支援	拡 環境未来都市推進(E-KIZUNA Project)	電気自動車普及施策を推進するとともに、「次世代自動車・スマートエネルギー特区」推進に向け「ハイパーステーション」普及に向けた取組を実施【環境未来都市推進課】	50,728
	新 拡 (仮称)シルバーポイント事業	高齢者サロンの参加者や高齢者のボランティア活動に対しポイントを付与し奨励金を交付【介護保険課】	69,992
	新 (仮称)高齢者見守り協力員	各自治会から見守り協力員を募り、活動実績に応じてシルバーポイントを付与【高齢福祉課】	1,000
	新 (仮称)ゴールドチケット交付	介護ボランティア参加者や75歳以上の希望者を対象に、市内公共施設等を無料又は低額で利用できる(仮称)ゴールドチケットを交付【高齢福祉課】	19,200
	新 (仮称)介護予防高齢者住環境改善支援	転倒等の危険性の高い高齢者を対象に、住宅改修費用の満額又は一部を助成(1件15万円を上限)【高齢福祉課】	15,750
	拡 老人福祉施設整備費補助	特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設)等の整備費の一部を助成(367床増)【高齢福祉課】	1,385,964
子育て支援	拡 待機児童ゼロプロジェクト	認可保育所の整備(定員752人増)【幼児政策課】 放課後児童クラブの整備(定員360人増)【青少年育成課】	1,876,134
	拡 土曜・放課後チャレンジスクール	「土曜」を80校 164校に(全小・中・高校で実施)【教育総務課】 「放課後」を70校 103校に(全小学校で実施)【青少年育成課】	154,484
	新 公立保育所給食提供	3歳以上の児童の主食を提供するための設備を整備【保育課】	40,577
市民生活を重視したその他施策	新 ひきこもり対策推進	ひきこもりに特化した相談窓口「(仮称)さいたま市ひきこもり支援センター」を開設【こころの健康センター】	3,560
	拡 さいたまシティマラソン	平成23年度と同規模での大会を開催するとともに、フルマラソン実施に向け、経済波及効果等を調査【スポーツ振興課】	75,000
	拡 医療ものづくり都市構想行動計画策定	医療機器関連産業の育成と集積に向けた産学官医が連携する参入支援プラットフォーム構築に向けた検討【産業展開推進課】	13,900
	新 (仮称)さいたまマルシェ	土産品をはじめ、B級グルメ、スイーツ、カクテル等、さいたま市の特色ある「食」のフェアを開催【観光政策課】	10,000
拡 大宮駅東口のまちづくり	大門町2丁目中地区市街地再開発準備組合への活動支援等・公共施設再編による都市拠点整備の検討・氷川緑道西通線の整備【大宮駅東口まちづくり事務所】	435,950	